

# エコアクション21環境活動レポート



(平成23年3月～平成23年5月)



株式会社フジタ建設コンサルタント

## 取組の対象組織・活動

### (1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント  
代表取締役 藤田 定吉

### (2) 所在地

本社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字原87-1  
阿南営業所 〒774-0017 阿南市見能林町青木148-7  
徳島営業所 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部次長

杉山 孝一

TEL: 088 - 698 - 2155

E-mail koichi-sugiyama@fujitacc.co.jp

担当者 管理部 総務課 主任

豊崎 純司

TEL: 088 - 698 - 2155

E-mail junji-toyosaki@fujitacc.co.jp

### (4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

登録事業名	登録番号
測量業	第12-1717号
建設コンサルタント	建21第453号
地質調査業	質19第1653号
補償コンサルタント	補20第189号
一級建築士事務所	第61097号
計量証明事業所	第75・76・86号

### (5) 事業の規模

設立年月日 昭和41年6月1日  
資本金 4千万円  
売上高 8億円  
従業員数 81名  
延べ床面積 1,570m<sup>2</sup>

### (6) 事業年度

6月～翌年5月

### (7) 認証登録対象範囲

全社・全組織

### (8) レポートの対象期間及び発行日

対象期間 平成23年3月1日～平成23年5月31日

発行日 平成23年6月20日

# 環境方針

## <基本理念>

我々は、自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。

また、企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。

## <行動指針>

具体的に次のことに取り組むものとする。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④事務用品のグリーン購入
- ⑤環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守
- ⑥環境配慮型の設計
- ⑦会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進
- ⑧環境方針を全従業員に周知徹底し、環境活動レポートにより公表する

制定日：平成23年2月1日

改定日：

代表取締役 藤田定吉

## 環境目標

### 1) 単年度目標

項目	単位	基準年	目標
		H22.3 ~ H22.5	H23.3 ~ H23.5
CO2 排出量	Kg-CO <sub>2</sub> / 年	28,300	28,200
電力使用量	MJ / 年	442,000	440,000
燃料	MJ / 年	169,000	168,000
上水使用量	m <sup>3</sup> / 年	355	354
廃棄物排出量	t / 年	2.8	2.7
グリーン購入量	品目	1	1
事務用紙使用量	t / 年	1.10	1.05
環境配慮型の設計	件 / 年	1	1
地域貢献	回 / 年	1	1

削減率は、毎年0.3%とした。

電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO<sub>2</sub>/Kwhとした。

### 2) 中長期目標(3～5年先)

項目	単位	H21.6 ~ H22.5	H22.6 ~ H23.5	H23.6 ~ H24.5	H24.6 ~ H25.5	H25.6 ~ H26.5
		基準年	目標	目標	目標	目標
CO2 排出量	Kg-CO <sub>2</sub> / 年	113,252	112,900	112,500	112,000	111,500
電力使用量	MJ / 年	1,767,965	1,762,000	1,757,000	1,752,000	1,747,000
燃料	MJ / 年	675,284	673,200	671,200	669,200	667,200
上水使用量	m <sup>3</sup> / 年	1,420	1,415	1,410	1,405	1,400
廃棄物排出量	t / 年	11.4	11.3	11.2	11.1	11.0
グリーン購入量	品目	1	2	3	4	5
事務用紙使用量	t / 年	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
環境配慮型の設計	件 / 年	1	4	5	6	7
地域貢献	回 / 年	3	3	3	3	3

削減率は、毎年0.3%とした。

電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO<sub>2</sub>/Kwhとした。

## 環境目標の実績

### 1) 本年度実績

項目	単位	基準年	22年度		達成率 %
			目標	実績	
		H22.3 ~ H22.5	H23.3 ~ H23.5	H23.3 ~ H23.5	
CO2 排出量	Kg-CO <sub>2</sub> / 年	28,300	28,200	28,033	101%
電力使用量	MJ / 年	442,000	440,000	384,471	114%
燃料	MJ / 年	169,000	168,000	197,493	85%
上水使用量	m <sup>3</sup> / 年	355	354	316	112%
廃棄物排出量	t / 年	2.8	2.7	1.0	270%
グリーン購入量	品目	1	1	1	100%
事務用紙使用量	t / 年	1.10	1.05	1.00	105%
環境配慮型の設計	件 / 年	1	1	1	100%
地域貢献	回 / 年	1	1	1	100%

電力使用量 排出係数は、0.378Kg-CO<sub>2</sub>/Kwh とした。

## 環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成23年3月～平成23年5月

項目		活動内容	担当者	取組結果	評価	見直し
CO2排出量削減	燃料使用量削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った		継続する
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った		継続する
	電力使用量削減	エアコンの温度設定(冷房28 暖房21 )	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節した		継続する
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した		継続する
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施		継続する
	用水使用量削減 (排水量削減)	手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導		継続する
廃棄物削減	分別ボックスの設置	LE委員				
	裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した			継続する
グリーン購入	エコマーク商品の積極的購入	LE委員				推進の指導・教育の実施
事務用紙使用量削減	社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化	LE委員				継続する
	裏紙使用					
環境配慮型の設計	環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく			継続する
地域貢献(清掃活動)	各部で、3回/年 実施する	部門長				継続する

110% 以上

100% ~ 110%

90% ~ 100%

× 90% 未満

## 次年度の取組内容

期間：平成23年6月～平成24年5月

項目		活動内容	担当者	取組内容	評価	見直し
CO2排出量削減	燃料使用量削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う		
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う		
	電力使用量削減	エアコンの温度設定(冷房28 暖房20 )	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する		
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する		
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施		
用水使用量削減 (排水量削減)		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導		
廃棄物削減		分別ボックスの設置	LE委員			
		裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する		
グリーン購入		エコマーク商品の積極的購入	LE委員			
事務用紙使用量削減		社内LAN、データベース等による文書の電子化	LE委員			
		裏紙使用				
環境配慮型の設計		環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく		
地域貢献(清掃活動)		各部で、3回/年 実施する	部門長			

## 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される法規制	適用される施設等
環境基本法	事務所
グリーン購入法	事務所
地球温暖化対策の推進に関する法律	事務所
環境配慮事業促進法	事務所
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事務所
特定家庭用機器再商品化法	事務所
フロン回収破壊法	事務所
浄化槽法	事務所
徳島県地球温暖化対策推進条例	事務所
徳島県生活環境保全条例	事務所
消防法	事務所

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

項目	評価・見直し	担当者	期限	見直し結果
環境マネジメントシステムについて	<p>【マネジメントシステムの各要素】</p> <p>マネジメントシステムに従って各項目を理解し、継続的改善を図ること。</p>	管理責任者 杉山孝一	H23.7.末	<p>【マネジメントシステムの各要素】</p> <p>各部毎に責任者を2名程度選出すること。</p>
環境パフォーマンス評価	<p>【環境方針】</p> <p>環境方針は全社員が内容を理解して活動している。</p> <p>【目標】</p> <p>目標は達成できていた。</p>			<p>【環境方針】</p> <p>環境方針に従って行動すること。</p> <p>【目標・環境活動計画】</p> <p>環境活動計画を十分に熟知し、これからも目標を達成すること。</p>



# 環境保全活動の紹介

## デマンド装置の設置



## 各種 使用量削減のための表示



## 各種 資源の再利用・分別に関する表示



**「ボランティア・サポート・プログラム徳島」  
(徳島市川内町平石夷野～徳島市川内町加賀須野)**



**「Adopt program 吉野川」(応神大橋から上流へ800mの区間)**



**北島町土木施設アドプトプログラム**

